

WFRS 20th
World Rose Convention 2024 in Fukuyama

第20回 世界バラ会議 福山大会2024 基本計画

2020年(令和2年)3月

世界バラ会議福山大会準備委員会
World Rose Convention Fukuyama Preparatory Committee

 **Roses for the Future** 
～福山からはじまる, 新しい未来～

世界へ届けよう 未来へ残そう 福山の心

■ ばらのまち福山

「戦災で荒廃したまちに潤いを与え、人々の心に思いやりと優しさを取り戻そう。」

1950年代半ば、その声はどこからともなく上がった。

まるで、希望の明かりを灯すかのように。

ばらのまち福山には、ばら公園を始め、まちの至る所に赤や黄、白といった色鮮やかなばらが誇らしげに咲いている。市民にとって、ばらは暮らしに彩りを添える日常の景色であり、平和の尊さを伝え、心の豊かさが実感できる、活力ある福山の象徴として親しまれている。

■ 復興への祈りを込めて

1945年(昭和20年)8月、福山空襲により福山のまちは、市街地の約8割が焼失した。筆舌に尽くしがたい苦難の中、市民は懸命に復興への歩みを続けた。しかし、戦後の再建復興が進められる中でも、市民の心は混迷を抜け出せないままだった。

そんなとき、現在のばら公園付近の住民の手によって、雑草だらけの空き地に約1,000本のばらが植えられた。植えられた一本一本のばらには、傷ついた心を慰め、生きる勇気と希望を取り戻したい、お互いに助け合ってこのまちをもう一度よみがえらせたいとの祈りが込められていた。



ばらを植える住民



住民と福山市が協働でばらを植栽



1968年(昭和43年)、第一回バラ祭の様子

“ローズマインド”



■ 「100万本のばらのまち」の実現

ばらの普及活動は、多くの人々の共感を生むこととなった。市民と行政は互いに協力し、学校や公園、街路などへばらの苗を植え、ばらを通じたばらのまちづくりの輪を広げた。ばら一本一本に平和な社会の実現とまちの将来の発展への願いを込めて。

60年以上にわたる歩みの中、まちにはばらが溢れ、人と人がつながることで、ばらを通じてコミュニティが次々と生まれた。小さな活動が積み重なり、多くの市民主体による取組、協働による取組により「100万本のばらのまち」となった。

100万本のばらのまちに育てた希望の心が、このまちには咲いている。

一人一人の小さな思いやりや優しい心が、このまちには香っている。

ばらを愛し、人を愛する心が、このまちには育っている。

そうした福山の心はローズマインドと呼ばれ、次の世代へと受け継がれてきたのである。

■ 記憶に残る大会へ

2024年(令和6年)の世界バラ会議は、プレツアー、ポストツアー等での全国のばら園の訪問、日本の文化や歴史などが体験できるプログラムの実施など、日本全国が舞台となる大会です。国の関係省庁を始め、関係自治体とも連携を図り、日本のプレゼンスの向上をめざします。

また、世界中の皆様を福山の心「ローズマインド」でお迎えし、市民とのふれあいを通して、平和の尊さを分かち合い、大会の意義を共有することで、大会に関わった全ての人に、それぞれの物語「ローズマインドストーリー」が生まれ、記憶に残る大会としていきます。



ばらづくりの担い手の育成



子どもの頃からばらにふれる環境づくり



2016年(平成28年)5月21日100万本のばらのまち達成

みんなで創る ばら



ビジョン

戦後60年以上に及ぶばらのまちづくりの中で、暮らしの中に息づいてきた福山のばら。

ばらの世界観を広げ、ばらの力と市民の力を組み合わせ、新たなばらの価値(ばらの未来)を創造し、持続可能な社会が実現した輝き続けるまち福山を創造していきます。

ばらの力

🌹 輝かしい福山のまちと持続可能な社会の実現へ

1. 平和な社会の実現(平和の象徴)
2. 国際交流(ばらが世界をつなぐ)
3. 都市の魅力向上(美しいまち)
4. 経済活性化(観光・産業の発展)
5. 環境美化(快適な地域)
6. 健康で豊かな暮らし(花や緑との共生)
7. コミュニティの維持(まちづくり活動)
8. 人材教育(シビックプライドの醸成)

ばらの世界観

🌹 ばらが持っている機能的、情趣的価値

- ・美・彩り・可憐かれん・上品・癒し・憩い
- ・愛情・豊かさ など

🌹 ばらの世界観を活かせる分野

- ・ファッション・美容・食・環境
- ・美術・健康・音楽・工芸 など

市民の力

- ・戦後復興を成し遂げた経験(復興力)
- ・100万本のばらのまち福山を実現した経験
- ・ローズマインド



新たなばらの価値の創造と
持続可能なまちの実現へ

持続可能な社会を実現するためのSDGs17の目標と呼应した取組



輝き続ける福山へ

の未来・まちの未来



アクション

福山のばら，ローズマインドによるまちづくりを発信するとともに，ばらの可能性を広げ持続可能な社会の実現をめざすため，世界バラ会議福山大会と（仮称）Rose Expoを開催し，大会を通じて取り組み生み出された様々な成果を有形無形のレガシーとして残していきます。

世界バラ会議福山大会

福山のばら，ローズマインドを発信する場
ばらの可能性を広げ，新たなばらの価値を創造する場

〈実施内容〉

ばら研究など発表・エキスカージョン・
プレツアー・ポストツアー



（仮称）Rose Expo

〈実施内容〉

福山のばら，ローズマインドによる
まちづくりが経験できるイベント



平和



国際交流



先端技術



コミュニティ



世代間交流



暮らし



アート



音楽



健康



美容・癒し



世界バラ会議福山大会・ (仮称) Rose Expoがめざすもの

平和なまちの発展，人づくり，コミュニティの形成に貢献してきたばらのまちづくりは，その理念に基づく取組の一つ一つがSDGs※に掲げられたゴールの達成に大きく寄与するものと考えます。このことからSDGsの取組を大会の柱に据え，持続可能な社会の実現に向けた福山の取組を国内外に発信し，後世につなげる大会とします。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



※SDGs (エスディー・ジーズ) …持続可能な開発目標の意味で， Sustainable Development Goalsの略称。2015年(平成27年)9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年(平成28年)から2030年(令和12年)までの国際目標のこと。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され，日本としても積極的に取り組んでいる。

1	開催概要	7
2	会場計画	13
3	宿泊・交通計画	15
4	参加登録計画	17
5	ローズマインド推進計画	19
6	大会ムーブメント計画	21
7	ボランティア計画	23
8	協働推進計画	25
9	安全対策計画	28
10	広報計画	29
11	スポンサー・パートナー計画	31
12	(仮称) Rose Expo開催計画	33
13	レガシー	35
14	ロードマップ	37

「ばら」と「バラ」の表記について

福山市では、「ばら」は1985年(昭和60年)に市の花を「ばら」と制定した際に、平仮名で「ばら」と表記することとしています。なお、「世界バラ会連合」「世界バラ会議」は固有名詞であるため、片仮名で「バラ」と表記しています。

「大会」の表記について

この計画内では、世界バラ会議福山大会と(仮称) Rose Expoの総称として、「大会」と表記しています。

1 開催概要

■ 名称

第20回世界バラ会議福山大会 2024

WFRS 20th World Rose Convention 2024 in Fukuyama

※WFRS…世界バラ会連合（World Federation of Rose Societies）の略称のこと。

■ テーマ

Roses for the Future

～福山からはじまる、新しい未来～

見る人の心を癒やし、笑顔をもたらすばらの力と
互いを思いやり、助け合う心を大切にする市民の力で、
まちと市民が後世まで輝き続ける福山とばらの新たな未来を切り拓いていきます。



■ 開催期間

「ばらのまち福山」の魅力の効果的かつ最大限に発信していくため、ばらが最も見頃となり、福山ばら祭などの市内イベントとの連携による相乗効果が期待できる時期に開催します。

(1) 本会議

2024年(令和6年)5月19日(日)～25日(土)

(2) オプションツアー

- ・プレツアー※ 本会議前3日～6日間
- ・ポストツアー※ 本会議後5日～7日間

■ 登録者数（想定）

本会議登録者（大会登録者）数は、700人を想定します。

■ 参加登録費

参加登録費は原則、有料とします。参加登録費は、過去大会の登録費などを勘案しながら設定します。

※プレツアー・ポストツアー…会議開催期間の前後で実施する視察研修ツアーのこと。



■ プログラム内容※

■ 本会議

(1) 世界バラ会連合 各種委員会・会議など

表彰委員会，開催地選考委員会，ヘリテージローズ（遺産ばら）委員会，分類・登録委員会，出版委員会などの委員会や理事会，役員会を開催します。また，世界40か国の代表者による評議委員会を行い，これらの会議により次期開催地，優秀庭園賞などを決定します。



講義

(2) 講義

ばらの植物学，栽培，育種，歴史・文化などをテーマに各国の研究者や専門家を講師として招き，ばらの最新情報，研究成果の発表などの講義を行います。

講義数 : 15コマ程度

講師候補：国内外のばらに関する研究者・育種家
・企業・教育機関から地域性などを考慮しながら選定します。

会場 : 市内各所



開会式

(3) 開会式・ウェルカムパーティー

本会議の幕開けを告げるイベントとして，参加を歓迎するレセプション※を行い，印象に残る演出や趣向を凝らしたアトラクションで華を添え，本会議への期待感を高めます。



ウェルカムパーティー

(4) 閉会式・フェアウェルパーティー※

世界各国の人々に最後の交流を楽しんでいただくとともに，日本らしさ，福山らしさを感じていただけるような式典を含めた懇親会を開催します。次期開催地へ大会旗の引継ぎなどを行い，交流の継続と次期大会での再会を誓い合うパーティーとします。



フェアウェルパーティー

※レセプション…「歓迎会」や「招待会」のこと。

※フェアウェルパーティー…「送別会」のこと。

※プログラム内容で掲載している写真は過去の世界バラ会議などの写真です。

(5) 各種表彰

大会記念ばらや殿堂入りのばらの発表，優秀庭園賞・優秀書籍賞の表彰，本大会及び世界バラ会連合の功労者を称える表彰式を開会式・閉会式などの中で開催します。



エクスカージョン

(6) エクスカージョン※

本会議開催期間中に，半日又は終日で広島県内を中心としたガーデンや植物園などの視察や取組の紹介，名所や文化施設を巡るツアーを開催します。



ばらの盆栽（盆景）

(7) ローズショー・展示会

ばらの盆栽（盆景）や各種コンテスト，音楽・ファッションを始め日本・福山の歴史や文化などの特色を活かした催しや展示会を開催します。

(8) 同伴者プログラム

大会登録者に同伴して大会に来られる方にも，大会を楽しんでいただけるよう講義と並行して，観光名所への訪問や日本ならではの文化体験ができるプログラム，ショッピングや飲食の紹介などを行います。

■ オプショナルツアー

(1) プレツアー

大会登録者を対象に本会議前の日程で，西日本を中心に主要ばら園などを巡るツアーを実施します。

(2) ポストツアー

大会登録者を対象に本会議後の日程で，東日本を中心に主要ばら園などを巡るツアーを実施します。

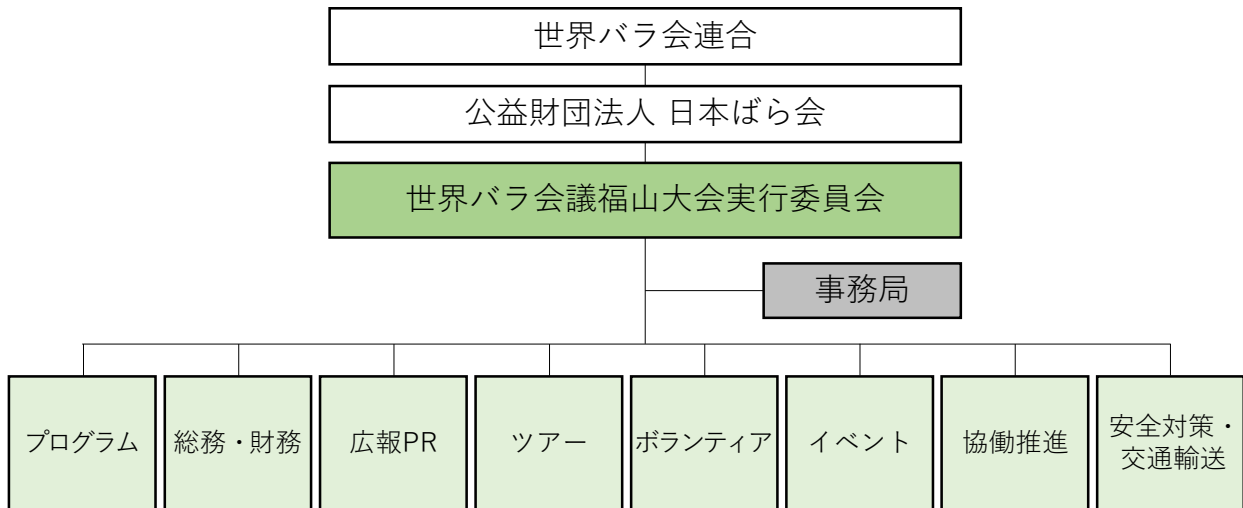
※エクスカージョン…大会登録者に現地での体験を通じて理解を深めていただく体験型視察ツアーのこと。

■ 世界バラ会議福山大会スケジュール（想定）

日程	内容	備考
プレツアー (3~6日間)	西日本を中心に主要ばら園などを巡るツアー	
大会前日	登録受付, インフォメーションデスク	
1日目	登録受付, インフォメーションデスク, WFRS各種委員会, エクスカーション, 市内散策, 夜の福山を楽しむ(ナイトツアー), ウェルカムパーティー	
2日目	午前/開会式・歓迎セレモニー・歓迎昼食会 午後/講義(3~5講義) 夕方/WFRS各種委員会	
3日目	午前/講義(3~5講義) 午後/エクスカーション (公園, 地域花壇, 学校花壇, ほ場見学など) 夕方/WFRS各種委員会, 役員交流パーティー	体験サロン (折りばら, 盆栽など) 展示コーナー
4日目	終日/エクスカーション (夜間)ディナー, 交流会, ライブパフォーマンスなど	
5日目	午前/講義(3~5講義) 午後/WFRS各種委員会, 次々回開催地プレゼンテーション, エクスカーション(文化体験)	体験サロン (折りばら, 盆栽など) 展示コーナー
6日目	午前/講義(3~5講義) 午後/エクスカーション (地域花壇, オープンガーデンなど) 夕方/WFRS各種委員会	体験サロン (折りばら, 盆栽など) 展示コーナー
7日目	終日/エクスカーション 夕方/WFRS各種委員会, 次回開催地プレゼンテーション, 閉会式(各種表彰), フェアウェルパーティー	
ポストツアー (5~7日間)	東日本を中心に主要ばら園などを巡るツアー	

■ 推進体制

円滑な運営を図るための実行組織として、「世界バラ会議福山大会実行委員会」を設置するとともに、個別の事業実施や計画推進のための専門委員会を組織します。また、国、県、他の自治体、外部機関及び有識者との連携を図り、大会の成功をめざします。



プログラム	登録（受付）	登録受付に伴う名簿の管理（入金チェック含む）など
	式典・委員会・講義	開会式・閉会式・委員会・各種表彰の準備、運営など
	展示・体験	各会場での体験型プログラム（和文化体験など）の企画、運営など
	エクスカーション	市内外のばら園、観光名所を巡る半日又は終日のツアーの企画・調整など
	おもてなし	レセプションの企画・運営、ローズマインドの発信など
総務・財務	全体（各委員会相互の連携）の調整・財務業務（世界バラ会連合、日本ばら会など外部との連携・調整含む）	
広報PR	大会の周知や機運を高めるためのPR、ばらのまち福山の魅力発信、大会記念誌の編さんなど	
ツアー	プレ・ポストツアーの企画・運営など	
ボランティア	ボランティアの募集、受付、育成、配置計画の作成、運営など	
イベント	（仮称）Rose Expo、プレイベントの企画・運営（福山ばら祭などの関連イベントとの調整含む）	
協働推進	大会の機運を高めるための活動、協働で取り組むイベントの企画・運営など	
安全対策・交通輸送	安全対策・交通輸送の計画・運営、外部機関との調整など	

2 会場計画

大会関係者や大会登録者が各プログラムに参加しやすいよう、立地条件や施設規模、整備状況などを踏まえたうえで、会場を設定します。

■ 基本的な考え方

- (1) 各プログラムの実施内容を考慮しながら、必要な広さや収容人数、機能、備品・設備の備え付け状況などを踏まえたうえで、会場設定を行います。
- (2) 福山らしい歴史的建造物や文化施設などを会場として活用し、特別感や地域特性を演出します。
- (3) 歓迎ムードや盛り上がりを感じられる会場づくりを行います。

■ 会場の想定について

会場については、次のことに配慮し、選定します。

(1) 講義会場

- ・福山駅や他の会場との交通アクセスが容易であること
- ・約700人の大会登録者を収容できる規模であること
- ・コーヒブレイクなどの対応が可能で、交流スペースが確保できること
- ・インターネット環境が整っていること
- ・同時通訳のためのスペース確保が可能であること
- ・問合せ窓口のスペースや役員会などの会議室の確保ができること など

(2) レセプション会場

- ・約700人の大会登録者を収容できる規模であること
- ・福山の歴史や文化など地域性が感じられる、又はそのような装飾が可能であること
- ・雨対策が可能であること
- ・表彰などに必要な設備の対応が可能であること など

(3) 理事会・委員会会場

- ・宿泊施設への交通アクセスが容易であること
- ・同時に開かれる会議の数や委員数に応じた部屋の確保ができること など

■ ユニークベニュー（福山の良さを発信できる会場）

ユニークベニューとは、歴史的建造物、文化施設や公的空間などで、会議・レセプションを開催することで特別感や地域特性を演出できる会場のことをさし、福山の歴史や文化、自然などが感じられ、満足度の高いプログラムとなるよう検討し、決定します。

・ユニークベニュー候補案

福山城や鞆の浦、ふくやま美術館や広島県立歴史博物館、エフピコアリーナふくやま（福山市総合体育館）など福山ならではの歴史的・文化的建造物を始め、瀬戸内の多島美や江戸時代の情緒を体験できる鞆の浦などを中心に、食の提供、能、琴、書道、茶道などの日本の伝統文化を体験できる場所でのレセプションや開会式・閉会式を検討します。

■ 会場決定後

会場決定後は、広さや設備・装置関係、大会登録者の動線などを考慮し、いつ、どの部屋を、どのような内容で使用するかなどを想定した会場使用計画を作成します。

福山城



エフピコアリーナふくやま（福山市総合体育館）



ふくやま美術館



広島県立歴史博物館



鞆の浦

3 宿泊・交通計画

宿泊施設は、大会登録者などの移動に負担がかからないよう、福山駅から徒歩圏内に集約するよう努めるとともに、宿泊施設から各会場までが徒歩圏外となる場合はシャトルバスを、エキスカージョンにおける移動は大型バスによる運行を基本とし、大会登録者などが安全・円滑に移動できるようにします。

■ 基本的な考え方

- (1) 人数や荷物量、顧客ニーズに合わせた宿泊施設を確保し、大会登録者などの希望に沿うように努めます。
- (2) シャトルバス・大型バスで移動する場合は、各会場やエキスカージョンなどで訪れる施設のバス専用駐車場を確保しておくとともに、長時間の移動が生じる場合は、車内が手狭とならないよう、ゆとりを持った配車計画とします。
- (3) 大会登録者などの安全で円滑な輸送を図るため、運行ルート、輸送スケジュール及び必要な交通規制などについて、関係者で綿密な打合せを行い、快適な輸送体制を整えます。

■ 宿泊施設の想定について

福山駅から徒歩圏内(概ね半径500m)以内の施設をメイン候補としつつ、必要に応じてその圏外立地にある施設もサブ候補とします。また、ゲストハウスの活用など大会登録者の希望によって柔軟に対応できるようにします。



※半径約500m圏内の総客室数100以上の施設を掲載（2020年(令和2年)3月現在）

■ 宿泊施設における受付体制

福山市内の宿泊施設をメイン施設として設定し、宿泊人数が多い主な宿泊施設については、ロビーなどに受付専用デスクを設置し、受付を円滑に行える体制を整備します。

■ 交通(輸送)案

会場への移動やエクスカージョンでの移動のために、交通状況などを踏まえた輸送ルートを設定します。設定に当たっては、大会登録者などの安全で円滑な輸送を行うため、バス事業者、関係機関と協議・検討のうえ、運行ルートを設定します。

また、時間管理を行うために、運行状況の管理を一元的に行う体制づくりに努め、リアルタイムな連絡体制を整えます。

(1) 講義会場などへの移動

宿泊施設から徒歩圏外で講義を行う場合は、シャトルバスを運行することにより、会場にバスを停車させず、駐車場内の混雑を避け、緊急対応できる必要数の駐車場を確保します。

(2) エクスカージョン地への移動

エクスカージョンのルート設定は、当日の道路混雑などのリスクを想定し、高速道路の利用を行うなど移動時間がかからない最短ルートを設定するとともに、代替ルートや迂回ルートを設定し、交通事故や渋滞などの不測の事態に備えます。

■ 福山までのアクセス方法

福山までの移動は次のケースを想定し、ウェブサイトなどであらかじめアクセス方法を周知します。

- ・ケース1 成田空港・羽田空港から福山へ新幹線で移動
- ・ケース2 成田空港・羽田空港から広島空港へ移動
広島空港から福山へ高速バスで移動
- ・ケース3 関西空港から福山へ新幹線で移動
- ・ケース4 福岡空港から福山へ新幹線で移動



4 参加登録計画

国内の参加希望者はもちろんのこと、海外の参加希望者においてもスムーズに参加登録ができるよう、日本語と英語対応での分かりやすいウェブサイトを構築するなど、明確で簡便な登録方法を確立するとともに、登録期間に合わせて段階的に登録を促し、一人でも多くの大会登録者の確保をめざします。

■ 基本的な考え方

- (1) 日本語と英語のウェブサイトを構築し、プログラムや日程、準備の様子が分かる情報を随時更新することにより、周知・PRを行い、登録の促進につなげます。
- (2) プログラム全体の参加登録区分に加え、1日ごとの参加登録や公開講義などへの参加登録を可能にするなど、柔軟に登録区分を設け、国際会議やばらに関心の高い人がより参加しやすい仕組みを整えます。

■ 登録区分

多くの大会登録者を確保するとともに、大会登録者の見込みを立てる必要があることから、事前登録方式を基本とします。また、早期登録や通常登録など登録時期に応じて参加登録費の割引金額を設定し、早期の大会登録者の確保を図ります。

登録区分を期間に応じて4つに分け、段階に応じた登録案内を行うとともに、1日ごとの登録などを可能とし、国内の参加や市民の登録促進を図ります。

登録区分			
早期登録	通常登録	後期登録	直前登録

■ 登録方法

登録受付は、ウェブサイトから行うこととし、手続きが簡便な登録システムを構築します。また、宿泊の申込みも参加登録と同時に行うことができるようにすることで、参加希望者の利便性を図ります。登録に対する問合せは、メールなどを活用し、随時対応することにより、参加に対する不安を解消するよう努めます。

■ 主な業務・流れ

No	項目	内容
1	登録内容の決定	<ul style="list-style-type: none"> ・登録方法（ウェブサイトなど） ・登録料金（早期，通常，後期，直前，1日） ・登録項目（名前，所属，連絡先など） ・オプション申込み（ツアー，レセプション，宿泊先，食事制限など） ・支払方法（クレジットカード，銀行振込など） ・支払通貨 ・キャンセル規定（時期，返金率，返金方法など）
2	事前登録受付の実施と状況確認	<ul style="list-style-type: none"> ・問合せ先（メール，電話，住所）の設定 ・ウェブサイトでの受付フォーム，システムの構築，運用 ・大会登録者数，入金額，属性別人数などの確認 ・料金過不足の精算方法検討
3	登録促進	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動による登録の促進（ウェブサイトなど） ・過去の大会登録者への案内（メール，手紙など） ・関係団体などとの連携による登録の促進
4	当日受付	<ul style="list-style-type: none"> ・受付デスクでの業務フロー，講師受付フロー ・コンgresバッグ（大会オリジナルバッグ），封入物，名札（ネームカード） ・受付（事前大会登録者）リスト，支払情報 ・プレス登録，プレス規定

5 ローズマインド推進計画

平和な社会の実現と戦後の復興をばらに託し、ばらに愛情をもって育てることで育まれた人やまちに対する思いやりや優しさは「ローズマインド」として、受け継がれてきました。この心を大会を通じて更に市民への浸透を図り、心を込めたおもてなしにより、各国から参加する皆様をお迎えし満足していただける大会をめざします。

また、まち全体に咲き誇るばらとともに、世界の人たちと平和の尊さを分かち合い、ローズマインドを大会参加者の皆様と共有し、この福山の心を大会後も福山の文化として更に根付かせ、そして発信していきます。

■ 基本的な考え方

- (1) 大会に向けて、多くの市民と力を合わせ、市内のばらの充実を図り、ローズマインドや平和へのメッセージを大会参加者と共有できるよう取り組んでいきます。
- (2) 大会においては、日本文化や福山らしさを体験していただくだけでなく、市民とのふれあいによって、ローズマインドを体感していただき、出会いを大切にしたいおもてなしを行います。
- (3) 海外からの大会参加者の文化・習慣の違いなどへの理解を深め、大会参加者の立場に立ったおもてなしを行うことで、市民の多文化共生を尊重する意識の向上、インバウンド※の拡大につなげます。

■ 取組の展開

(1) ローズマインドの浸透

市民に対し更なるローズマインドの浸透を図るため、福山のばらの歴史について学び、ローズマインドを基底にした開催意義の理解を深める機会を数多く創出していきます。

(2) ローズマインドあふれるおもてなし

ローズマインドの精神で「ふれあいを通したおもてなし」「美しいまちでのおもてなし」「食のおもてなし」「福山の文化や資源を活かしたおもてなし」などにより、一期一会を大切にしたい感動や喜びにつながる大会にしていきます。

※インバウンド…原義は「外から中へ入る、内向き」の意。主に観光分野において、「外国人の訪日旅行」又は「訪日外国人そのもの」を意味する。

(3) インバウンドへの取組

海外からの大会参加者に便利で、分かりやすく、安心できる場を提供できるように受入体制や環境整備に取り組めます。

(インバウンドへの取組内容)

- ・ 英語表記のウェブサイト
- ・ 受付や講義， ツアーに語学ボランティアを配置
- ・ 案内看板やバナーの英語表記， ピクトグラム※の設置
- ・ マップなど配布資料の英語表記
- ・ Wi-Fi環境の整備
- ・ キャッシュレス決済への対応

(大会期間中の滞在支援)

- ・ インフォメーションセンターの設置
- ・ 文化や習慣に配慮した飲食物の提供
- ・ 滞在中の生活の注意事項や案内を記載したガイドブックの提供

※ピクトグラム…何らかの情報や注意を示すために表示される看板などの視覚記号（サイン）や絵文字のこと。

6 大会ムーブメント計画

大会に向け、市民の一体感が図れるよう周知に努め、誰もが大会に関わることができるよう活躍の場の拡大を図り、まち全体の取組としていくとともに、日々変わっていく様子や市民みんなが協働により取り組む姿を発信することで、高揚感や期待感を高め、大会に向けたムーブメントを起こしていきます。

また、この大会は、福山のばらのまちづくりの取組や大会の意義を多くの人に理解してもらう絶好の機会でもあり、大会そのものがばらのまち福山を発展させるムーブメントとなるよう取り組んでいきます。

■ 基本的な考え方

- (1) 60年以上に渡って取り組んできたばらのまちづくり、そして大会に向けた取組のストーリーを共有し、ムーブメントにつなげていきます。
- (2) 市民や企業を始め、多くの人が大会に関われるようメニューや仕組みづくりを行い、高揚感や期待感を高め、一体感を図りながら取り組んでいきます。

■ 取組の展開

(1) 大会に向けた機運醸成

大会開催に向けた高揚感を高めるため、駅など人通りが多い場所での広告物の掲出やイベントの実施、イベントの公募などにより、市民や企業などの積極的な参画につなげ、大会の認知度を向上させていきます。

また、講習会、シンポジウムなど様々な事業を開催し、大会の開催意義・目的への理解を深め、ばらや海外文化への関心が高まるよう促していきます。

更に、大会の2年前に開催の福山城築城400年記念事業などとも連携し、大会に向けた継続的なムーブメントとして活かしていきます。

(2) 大会サポーターの拡大

ウェブサイトやソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）※などを活用し、様々な取組をシェアできる仕組みを整え、大会のサポーターや大会登録者の拡大を図ります。

また、市民や企業などが自ら大会開催に関わる取組を宣言する「応援宣言制度」を導入し、取組を発信することで、大会に関わる市民や企業、団体の拡大と大会に向けた盛り上がりを図ります。

※ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）…インターネット上で他人と情報共有や意見交換ができるサービスのこと。

(3) ばらファンの拡大とばら文化の向上

大会参加者の皆様が楽しみ心躍るようなイベントを開催し、ばらへの興味・関心を高め、ばらの新たな可能性や魅力を体感していただくとともに、観光資源を活かしたばら園巡りなどの周遊プログラムの提案などにより、市内外におけるばらファンの拡大とばら文化の向上に取り組みます。

大会の開催そのものが ばらのまち福山の発展への ムーブメントに。

大会の開催を契機に、ばらへの興味・関心を高め、ばらの新たな可能性や魅力を発信することで、ばらファンの拡大、花き産業の活性化、観光産業の活性化につなげ、ばら文化の向上を図ります。

持続可能な社会の実現と
福山のまちの更なる発展へ

2024年5月

世界バラ会議福山大会
(仮称) Rose Expo開催

大会開催に向けた機運醸成（認知度向上，理解促進，他事業との連携）
大会サポーターの拡大による大会を盛り上げるための取組

2016年

100万本のばらのまち福山の実現

市民総ぐるみによるばらの普及活動

1950年代

1,000本から始まった
ばらのまちづくり



7 ボランティア計画

ボランティア一人一人が楽しみながらやりがいを持って活動できる機会を創出するとともに、大会の成功を支える人材として、個人のスキルアップを図りながら、大会の意義やローズマインドの理解を深め、大会参加者に接するなどホスピタリティあふれる大会にしていきます。そして、ボランティア活動を通してローズマインドを発信していきます。

また、大会での経験や感動を活かし次の活動へとつながるようボランティア活動の継承に取り組んでいきます。

■ 基本的な考え方

- (1) それぞれが持つ経験や知識を活かせるような活動メニューを設定し、活躍の場を提供することで、ボランティア活動へのやりがいや喜びにつなげ、将来のまちづくりの担い手の育成に取り組めます。
- (2) 未経験でも安心して活動できるよう説明会や研修会を開催し、質の高いサービスを提供するためのボランティアスキルの育成をめざします。
- (3) これまでも様々な場でボランティア活動を行ってきた人や若者、外国人など世代や立場を超えた人々の参加を図るとともに、ボランティア同士の交流の場を設け、一体感を持って活動できるよう取り組めます。
- (4) 国際大会の場において、世界各国からの大会参加者や関係者とボランティア活動を通じて交流を深めることで、市民の多文化共生を尊重する意識と国際感覚の醸成など人材育成につなげていく機会にしていきます。

■ ボランティアの募集と応募方法

- (1) ボランティアの募集については、活動メニューごとに、必要な人数、活動場所、活動期間、求めるボランティアスキル、育成方法などを明らかにするための募集計画を作成し、計画的なボランティア募集と人材育成に取り組めます。
- (2) ウェブサイトなどを活用し広く周知するとともに、参加の申込みをしやすいよう個人による応募のほか、団体やグループ単位での応募に対応できる受付体制を構築します。
- (3) 応募に当たっての問合せ対応や活動を継続してサポートするための「ボランティアセンター」を設置します。

■ 取組の展開

- (1) 大会を支える一員としてそれぞれの役割を理解し、質の高いサービスの提供、臨機応変な対応を行うための育成期間を確保するために、開催の約2年前から募集を行います。
- (2) 育成に当たっては、ばら愛好家や関係団体・機関と連携を図り、必要な知識の習得をめざすとともに、福山のばらの歴史やローズマインドについて学び、ボランティア活動に活かし、おもてなしにつなげます。

時期	内容
計画立案期 (～2022年8月)	実施計画において、ボランティア確保の方法検討
	ボランティアの募集計画作成
募集期 (2022年9月～12月)	ボランティアセンター設置・募集開始
養成期 (2023年1月～2024年4月)	募集登録・研修の実施 (ア) 全体オリエンテーション (イ) 全体研修会 (ウ) 個別研修会 (エ) 事前説明会(プレイベントなどでの実践形式含む)
実践の場 (2024年5月)	世界バラ会議福山大会, (仮称) Rose Expo

■ 主なボランティア活動内容

主なボランティア活動は次のとおりです。

区分	活動内容
運営ボランティア	事務局の運営補助など運営に関わる活動を行います。
会場ボランティア	登録受付補助や会場内各所での案内など会場整理に関わる活動を行います。
語学ボランティア	海外からの大会登録者の通訳対応（主に英語）を行います。

8 協働推進計画

1,000本のばらの植栽から始まったばらのまちづくりは、協働の原点として位置付けられ、様々なまちづくり活動が展開されてきました。

大会では、これまでの取組や蓄積した経験などを活かしながら、市民と行政が一体となって取組み、大会の成功はもとより、大会を契機に持続可能なばらのまちづくりの実現をめざし、今後の福山のまちの発展につなげていきます。

■ 基本的な考え方

- (1) 大会の様々な場面において、市民、団体、企業、学校など多様な主体が得意な分野で活躍できる場を創出し、誰もが参画しやすい環境づくりに取り組むとともに、大会の成功という思いを共有しながら「みんなで創る大会」の開催をめざします。
- (2) 持続的な活動につなげるため、主体的に参画できる人材の発掘と育成、協働の実践により、協働のまちづくりの推進の基盤強化に取り組んでいきます。
- (3) 大会の開催を通じて、ばらの持つ様々な可能性を活かし、他分野への拡大や連携を図ることにより、協働による取組の推進を図ります。

■ 取組の展開

(1) 大会を市民みんなで創るための取組

大会実行委員会への参画や広く意見交換する場などを設けることで、市民を始め造園・花き関係者、日本全国のばらの研究者などの有識者の積極的な参画を図るとともに、世界各国のばらの最新情報を収集し、新しいアイデアを取り入れながら計画策定や大会準備に取り組めます。

また、若い世代の参画を促すため、大学生や専門学校生の意見を取り入れた事業の実施や、まちづくりなどの地域への貢献と人材育成を目的とした研究事業などにも取り組めるよう連携していきます。

(2) 協働推進するための取組

大会後の協働によるばらのまちづくりの推進を見据えた人材の発掘と育成，協働の実践に取り組みます。

(ア) 人材の発掘

大会に向けたイベントや大会中のイベントなどを通じて，子どもから大人まで多くの方がばらに関心を抱くような魅力的なコンテンツや体験プログラムを展開することで花や緑に対する関心を高めるなど意識啓発に取り組み，新たな人材の発掘につなげていきます。

(イ) 人材の育成

既存の制度やばらに関する講習会，ワークショップなどとも連携を図りながら，高度な知識が学べるものから，身近な生活におけるばらの楽しみ方が学べるものまで幅広く学ぶための機会の充実を図ります。

また，ばら愛好家や個人ガーデナー，園芸に取り組む学生，ばら関連企業，ばらの育成以外の分野に取り組む市民などが交流し，情報交換を行う場を設けるなど，ばらのまちづくりのネットワークづくりにより，人材育成に取り組んでいきます。

(ウ) 協働の実践

市民，団体などが積極的に参画し，会場周辺を含めたまちなかのばらスポットの設置，地域や学校花壇でのばらの育成，会場内の修景づくりのほか，大会での作品展示やばら花壇の案内など，実践の場を創出し，大会後も継続的な活動につながるよう取り組みます。

また，大会に向けたモニュメント作成や新品種開発事業など，協働によるプロジェクト事業の実施や，それぞれの団体などが自主的に実施する事業の支援や紹介などを行います。

ばらの関連だけでなく，大会期間中の食やショッピング，ナイトタイムエコノミー※を目的としたマップの作成やナイトツアーの実施，観光・文化体験など，他分野への拡大を図り，協働を推進していきます。

(3) シビックプライド※の醸成

大会を通じて協働により取り組んだ経験や人々の交流が福山に対する愛着や誇り，福山のまちを自分たちの手でより良くしていこうという思いを育むとともに，大会後の協働によるまちづくりにつなげていきます。

※ナイトタイムエコノミー…夜間（一般には日没から日の出まで）の活動のこと。夜間の楽しみ方を拡充し，夜間ならではの消費活動や魅力創出をする活動を意味する。

※シビックプライド…シビック（市民の，都市の）とプライド（誇り）を合わせた言葉で，「市民の愛着と誇り」を表す。「シビックプライド」には，思いだけにとどまらず「私たちのまちは私たちが支える」「自分たちが関わって自分たちが住むまちを良くしよう」という主体性を持って取り組む姿勢も含む。

■ 協働事業者（想定）

市民，NPO・ボランティア団体，学校，市内企業，花き・造園関連事業者，国，広島県，各自治体（県内自治体，ばら制定都市会議加盟自治体）などばら分野の事業者に限らず，広く連携し，協働で取組を推進していきます。

カテゴリー	内容
大会運営	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画策定や大会準備，運営，ムーブメント事業への参画 など
広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的，主体的に行うSNSなどを活用した大会PR ・ロゴマークなどを活用したPR（自主出版物への掲出） ・大会応援宣言による自主的な広報活動への参画 など
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア育成講座 ・ばらについて学ぶ講習会，シンポジウム ・教育機関などと連携した事業 など
会場設営	<ul style="list-style-type: none"> ・地域などで育成したばらを活用した会場装飾 ・会場となるばら園の整備 など
イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）Rose Expo，プレイベントの開催 ・SDGsの実践や推進するための事業 ・企業の社会的責任・貢献活動（CSR） ・公募型イベントの実施 など
おもてなし	<ul style="list-style-type: none"> ・ツアー時における歓迎レセプション ・ユニークメニューでのステージ演出 ・福山の食材を活かした飲食提供 など

9 安全対策計画

大会参加者、大会関係者及び会場周辺の一般人の生命及び身体の安全を守ることを最優先に、危機管理体制・医療救護体制を整え、安全対策を行います。

■ 基本的な考え方

- (1) 消防、警察署その他関係機関との協力体制を築き、連携を密にするとともに、問題が起きたときの対処法を事前にマニュアル化しておくことで、大会参加者などの安全を確保し、安心して参加できるように対応します。
- (2) 災害や事故などの危機事象についてあらかじめ想定し、常に情報収集を行うことで、迅速な初期対応ができるようにします。

■ 安全対策

(1) 災害・事故など

豪雨や地震などの自然災害や会場・その周辺における火災、移動中の交通事故など危機事象に対応できるよう、発生に備えて準備をしておくとともに、発生した場合は速やかに関係機関と連携し応急対応を行うなど、被害や損失を最小限にとどめます。

(2) 医療・救護

会場に医薬品や休憩用ベッドなどを備えた救護所を設置し、傷病者の医療救護を行います。また、消防署や外国人対応が可能な近隣の医療機関と連携し、緊急の場合の搬送・受入体制を整えます。

(3) 衛生対策

保健所などの協力を得て、食品衛生や環境衛生について関係機関と協議を行い、衛生対策体制を整備します。食の安全を期すため、食事提供業者や会場内の食品提供施設などへの指導を徹底するとともに、飲食などにより発生する廃棄物の適切な処理を行い、会場の環境美化に努めます。

(4) 警備

会場内での事件・事故を防止し、円滑な運営を図るため、警察など関係機関と連携して警備や会場周辺の車両整理、大会参加者などへの適切な案内・誘導を行います。会場への危険物の持ち込み禁止の周知徹底を行うとともに、不審者・不審物への注意喚起を行い、防災・防犯に努めます。

(5) 大会参加者への情報提供

災害や事故などに対する一括した問合せ窓口を設置するとともに、問合せ先を周知することにより、迅速な情報の集約に努めます。また、必要な情報は公開し、大会参加者の不安を解消します。

10 広報計画

世界中から多くの人々がばらのまち福山に訪れる大会となるよう、「認知拡大期」、2021年(令和3年)のアデレード大会開催後からの「機運醸成期」、「誘客促進期」のフェーズに分け、それぞれに応じて大会のPRと参加の促進、機運の醸成につながる情報を民間のノウハウも活かしながら積極的に発信します。

アデレード大会では次期大会開催地として、福山のプロモーションを積極的に展開するとともに、2024年(令和6年)の開催に向け国内外への発信を推進していきます。

また、大会の認知度を高め大会への誘客を行うことで、ばらのまち福山の知名度の向上に寄与する広報活動を展開します。

■ 基本的な考え方

- (1) 広報活動などを通じて、大会の開催意義、開催理念、内容などについて広くPRするとともに、時期を得た広報活動により、開催に向けて機運を高めます。
- (2) 広報媒体の特性を活かした情報発信により、市内、国内、海外など対象者、エリアに応じた効果的な広報活動を展開します。

■ 活動の展開

大会までの期間を「認知拡大期」「機運醸成期」「誘客促進期」に分け、各フェーズに応じた効果的な広報活動を展開します。

時期	内容
アデレード大会開催前	
認知拡大期 (～2021年10月頃)	大会の認知度向上や開催意義・内容などの普及、理解を深めるためのPR活動を行います。
アデレード大会開催後	
機運醸成期 (2021年11月頃～ 2023年8月頃)	他都市との連携や全国イベントの活用を図るなど、市内外の機運醸成と来場動機を高めるためのPR活動を行います。
誘客促進期 (2023年9月頃～ 2024年5月頃)	大会プログラムの紹介や見どころのPR活動、プレイベントの開催などによる誘客促進のためのPR活動を行います。

■ 展開例

ロゴマークやウェブサイト，SNSを活用したPR活動などをエリアやターゲットに応じて効果的なものとなるよう展開します。

エリア	展開例
福山市内	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報や広報番組などの公共広報媒体を活用したPR活動 ・駅やバス乗り場など人通りが多い場所でのPR活動 ・福山ばら祭など市内の各種イベントを活用したPRイベント ・ばら愛好団体や花・緑に関する活動をしている団体などと連携したPR活動
日本国内	<ul style="list-style-type: none"> ・全国のばら愛好団体やばら制定都市会議（ばらサミット※）のネットワークを活かしたプロモーション活動 ・テレビ，ラジオ，園芸雑誌，新聞などのマスメディアを活用したPR活動 ・花きに関するイベントや全国的なイベントと連携したPR活動
海外	<ul style="list-style-type: none"> ・世界バラ会議アデレード大会や地域大会でのプロモーション活動，過去の世界バラ会議大会登録者へのPR及びプロモーション活動 ・海外旅行者向けの雑誌などの情報誌を活用したPR活動

※ばら制定都市会議（ばらサミット）…「ばら」を「市町村の花」として制定している地方公共団体やばらが広く住民に愛好されている地方公共団体により構成される会議のこと。1992年(平成4年)福山市の提唱により始まり，2019年(平成31年)3月末現在で28の市町が加盟。

(加盟団体) 岩見沢市，秩父別町，村山市，前橋市，玉村町，八千代市，横浜市，綾瀬市，箱根町，氷見市，伊那市，中野市，坂城町，可児市，神戸町，島田市，富士市，西尾市，岸和田市，豊中市，茨木市，寝屋川市，松原市，加東市，福山市，宇部市，粕屋町，鹿屋市

11 スポンサー・パートナー計画

大会の盛り上がりを図るとともに、大会の開催意義を共有し、ばらの新たな価値を創造する契機とするため、多くの企業、団体が参画できる取組を展開していきます。

また、国内企業に限らず、共に大会を盛り上げる海外企業を募り、国際色豊かな大会をめざします。

■ 基本的な考え方

- (1) 大会を盛り上げ、企業や団体のアピールにつながるなど、相互にメリットが感じられる多彩な協賛メニューを提案し、多くの企業や団体などが参画できるようにします。
- (2) 企業や団体の特色やノウハウを活かした企画や複数の企業などの協働による取組が行える場を創出し、参画の拡大につなげます。

■ 協賛の種類・内容

協賛に当たっては、資金提供のほか、物品提供や広報協力など、幅広いメニューとします。また、クラウドファンディング※などを活用し、大会の盛り上がりや資金の確保に努めます。

種類	内容
資金提供	大会に係る費用の一部を協賛金として提供
物品提供	大会に必要となる物品や資材、施設などの提供 又は無償貸与
広報協力	企業・団体などが所有する広報媒体や有料広告物などでの 広告掲載
協働事業	大会の趣旨に合った事業を自主的又は協働で実施
ネーミングライツ※	大会内のイベントなどの命名権
役務提供	企業・団体などからボランティア人材の提供

※クラウドファンディング…インターネット上で不特定多数の人から資金の支援や活動協力を募る資金調達の方法のこと。

※ネーミングライツ…一般的には公共施設などに名称を付与する命名権のことを表すが、ここではその手法を活用したイベントなどの命名権のこと。

■ スケジュール

時期	内容
計画立案期 (～2022年3月)	資金提供のメニュー作成，現物支給の項目整理，協働事業のプログラム作成，ネーミングライツなどの対象検討 <hr/> スポンサー・パートナー候補となる企業などのリストアップ
募集期 (2022年4月～ 2023年3月)	企業・団体への依頼及び内容調整
実施期 (2023年4月～ 2024年5月)	協賛メニューに沿った提供・協力の準備・実施，クラウドファンディング協力者などへリターンの提供

12 (仮称) Rose Expo開催計画

世界バラ会議福山大会の開催と同時に、福山ばら祭などの既存イベントとも連携を図りながら、ばらを始めとする花々や緑の魅力、ばらのまち福山の魅力を発信するための多彩なイベントとして(仮称)Rose Expoを市民、企業、行政が一体となって開催します。

大会登録者だけでなく、市民を始め訪れる全ての人が、楽しみ、心が躍るような内容をめざします。また、(仮称)Rose Expoの開催に当たっては、2025年(令和7年)の大阪・関西万博や2027年(令和9年)の開催に向けて準備を進めている横浜国際園芸博覧会との連携に加え、ばら制定都市会議(ばらサミット)の同時開催を図ります。

平和・復興の象徴としてのばらやローズマインドを発信、ばらの力、可能性を広げることで持続可能な社会の実現へ



ばらの世界観

美, 彩り, ^{かれん}可憐, 上品, 癒し, 憩い, 愛情, 豊かさ など

ばらの世界観を活かせる分野

ファッション, 美容, 食, 環境, 美術, 健康, 音楽, 工芸 など

コミュニティ



福山ばら祭

暮らし



ばらのある暮らしの提案

アート



美術館・博物館企画展

先端技術



デジタルコンテンツなど最新技術の展示

音楽



ばらの音楽祭

美容・健康



ヘルスケア(美容・健康・癒し)

■ 取組の展開

- (1) ばらを始めとする花々や緑の魅力について学び，体感できるようなプログラム
- (2) 暮らしの中に根付いたばらとの関わりなど，福山のばらのまちづくりの紹介とばらのまち福山の魅力発信
- (3) 健康・医療分野，美術・工芸・音楽などの芸術分野など，様々な分野での可能性の提案や花き産業などの活性化に結びつくような提案
- (4) デジタルコンテンツなどの最新技術の実験的活用の中
- (5) SDGsを原動力とした地方創生につながるような取組
- (6) 大会登録者との交流機会の創出

2024年(令和6年)の世界バラ会議は20回目を迎える記念すべき大会です。主催する世界バラ会連合や国内外に対して確かな成果を残し、福山のまちにとっても大きな飛躍の契機となるよう取り組みます。

■ 基本的な考え方

(1) 世界に向けて

戦後の復興と平和な未来という願いを「ばら」に託し、60年以上に渡ってばらのまちづくりに取り組んできた福山市で世界バラ会議を開催することにより、平和へのメッセージを世界に発信していきます。

(2) 世界バラ会連合に向けて

第20回の記念すべき大会として、市民みんなで創り上げ、人々の交流や体験を重視した大会とし、世界バラ会連合の50年の歴史の中で築かれた財産を開催地である福山が引き継ぐとともに、福山で生み出されるレガシー※を世界バラ会連合の未来へ、後世へとつなげていきます。

(3) 国内に向けて

世界中のばら関係者が注目する大会の開催を通じて、ホスト国、日本として、ばら文化や日本の魅力を海外へ広く発信し日本のプレゼンス※の向上につなげます。

また、世界中の様々な情報や知識などを相互の交流を通じて共有を図り、ばらを始めとした花々や緑に対して愛情を抱く人々の拡大につなげ、花き・園芸文化の更なる発展が期待できます。

さらに、全国28の都市が加盟する「ばら制定都市会議（ばらサミット）」の開催や日本各地のばら園、日本文化が体験できるツアー等、国レベルの大会として日本の魅力をPRし、2025年(令和7年)の大阪・関西万博、2027年(令和9年)開催予定の横浜国際園芸博覧会につなげていきます。

(4) 福山市に対するレガシーの創出

(ア) 都市ブランドの向上

ばらの世界的な大会において福山のばらのまちづくりの取組やその魅力を国内外に発信することで、知名度アップやイメージアップを図り、「ばらのまち福山」の都市ブランドの向上をめざします。

(イ) 産業・観光の発展

大会を通じてばらに関する新たな価値の向上やサービスの創出、ビジネスチャンスにつながる環境整備を進めます。また、インバウンド対応など来訪者の滞在環境や回遊性の一層の充実を図ることで産業・観光の発展につなげていきます。

※レガシー…後世に残る有形・無形の財産の意味。本来は過去に築かれた精神的・物理的遺産の意味だが、近年になって後世に残る財産の意味でも用いられるようになった。

※プレゼンス…「存在、存在感」の意。ここでは世界的な大会の開催による日本の国際的な存在感を意味する。

(ウ) 国際化の推進

世界中から訪れる多くの人々との交流を通じて、市民の多文化共生を尊重する意識や国際感覚の向上など、将来的に国際社会で活躍できる人材の育成に努めるとともに、大会でのノウハウの蓄積によりMICE※を積極的に推進するなど国際都市福山をめざします。

(エ) 協働の推進とシビックプライドの醸成

福山のばらの歴史、市の花「ばら」への想いを共有し、市民一人一人が主役となって大会を成功に導くことで、福山に対する市民のシビックプライドの醸成につなげていきます。また、大会を契機とした市民協働の取組により、大会後もレガシーを受け継ぐ人材の育成や大会実施に関わった組織間の連携強化につなげ、更なる協働の推進をめざします。

■ 取組の展開

大会は、単に福山で開催されるばらの祭典としてだけでなく、大会を契機に様々な分野でのレガシーを残す大会として成功させるため、各項目を検証するとともにテーマを設定し、レガシープロジェクトを立ち上げ取り組んでいきます。

対象	項目		主な内容
ハード	都市環境	ばらの環境整備	まちなかのばらの充実 大会記念となる名所の整備など
		受入体制	インバウンドインフラ※整備など
ソフト	組織	運営・関連組織	関連民間団体との連携強化など
		人的ネットワーク	新たな官民の連携など
	イベントの継承	企画・運営	ばらのイベントの再構築など
	知識・意識	知識の向上・文化の浸透 福山への愛着・誇り	福山の魅力の再発見、シビックプライドの醸成など
		国際意識の醸成	多文化共生への理解など
		ローズマインドの浸透	福山のばらの歴史や取組への理解など
	政策・教育	政策・教育への反映	SDGs, MICEの推進, 花育, ふるさと学習など
		環境美化	歩きたばこ禁止, 福山駅前のイメージアップなど
	市民活動	活動の支援・育成	まちづくりの担い手の確保や育成など
		ボランティア活動	活動の場の創出と拡大など
		新規活動事業	オープンガーデンツーリズム※の実施など
	地域振興	観光	ガーデンツーリズム, 福山城, 鞆の浦など他のスポットとの回遊性の充実, 観光コンテンツの開発など
		産業	ばらの価値の向上, ばらの特色を活かしたビジネスチャンスの可能性の拡大など
情報発信	認知度の向上	年間を通じたばらの情報発信拠点の整備, ばらの都市ブランド力の向上など	

※MICE…会議（Meeting）、報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際機関・団体・学会などが行う国際会議（Convention）、展示会・見本市・イベント（Exhibition/Event）の頭文字のことであり、集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称のこと。

※インフラ…インフラストラクチャーの略称で、産業や社会生活の基盤となる施設や設備のこと。

※ガーデンツーリズム…植物園や庭園などを訪れる観光旅行のこと。

14 ロードマップ

項目／年度		2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025～ (R7～)		
世界バラ会議	世界大会		アデレード大会 (オーストラリア)			福山大会 (日本)			
	地域大会	ブリュッセル 大会(ベルギー)							
福山市イベント		全国都市緑化 ひろしまフェア		福山城築城 400年記念事業	世界バラ会議 プレイベント	ばら制定都市会議 (ばらサミット)			
推進体制		実行委員会					世界 バラ 会議 福山 大会 ・ (仮 称) R o s e E x p o	大会 レ ガ シ ー 継 承	
大会計画・準備		世界バラ会連合・日本ばら会との連携							
		実施計画策定		実施運営マニュアル策定					
講義		講師選定		講師調整・確保	講義準備				
エクスカーション		プレ・ポストツアー エクスカーション地 選定	選定地調整・ ルート選定	プレ・ポストツアー エクスカーション 実施準備					
会場計画		会場選定 一部確保	会場確保、使用計画作成		会場準備				
宿泊・交通計画		施設選定 一部確保	宿泊施設調整・確保			宿泊対応準備			
			輸送ルート 計画立案	関係機関との調整・準備 輸送ルート決定					
参加登録計画		参加登録金額の 検討・決定	参加登録内容の決定 システム構築		大会登録者 受付開始				
ローズマインド推進計画		計画立案	計画実施						
大会ムーブメント計画		計画立案	計画実施						
ボランティア計画		ボランティア募集計画作成		ボランティア 募集	ボランティア 養成				
協働推進計画		計画立案	計画実施						
安全対策計画					関係機関との調整、 危機管理体制構築	実施準備 調整、連携			
広報計画		認知拡大	機運醸成		誘客促進				
スポンサー・ パートナー計画		計画立案 (スポンサーメニュー作成)		依頼・提案	連携・協力				
(仮称) Rose Expo 計画		計画立案	開催準備						
環境整備 インバウンドインフラ		環境整備計画・設計・工事・既存施設の改修							
国・県・他自治体との連携		国(総務省・国土交通省・農林水産省・外務省ほか) 広島県・近隣自治体・エクスカーション・ツアー地自治体・ ばら制定都市会議との連携(随時)							

日本政府観光局（JNTO）

国際会議誘致・開催貢献賞（誘致の部）受賞！

第20回世界バラ会議福山大会2024の誘致に向けた取組が評価され、「2019年度日本政府観光局（JNTO）国際会議誘致・開催貢献賞」（誘致の部）を受賞しました。



「国際会議誘致・開催貢献賞」は、2008年度（平成20年度）に創設され、国際会議の意義の普及・啓発や日本での国際会議を推進するため、国際会議の誘致及び開催における優れた功績を表彰するもので、コンベンション有識者で構成される審査委員会での審査を経て決定されます。

